





## SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 2 月 3 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
人に優しく地球環境と調和した製品を通して、世界の社会課題解決に貢献します。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本宣言を行うことにより従業員のSDGsへの理解を深め、活動の活性化を図ります。</li> <li>・次世代自動車（EV、FCV）用冷却液を通じ、産業と技術革新の基盤づくりへ貢献します。</li> <li>・自社関連車両（社用車、運送車両など）の温室効果ガス排出量削減へ貢献します。</li> <li>・自己実現と企業成長の両立を目指し、人材育成制度の拡充と適切な教育プログラムを提供します。</li> </ul>			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
			D×実現に向けた教育の実施と活用。
	産業と技術革新の基盤づくりへの貢献としてEV用バッテリー冷却液を開発し、グローバルに展開します。	日本と中国で販売されるEVに採用。	EV用バッテリー冷却液のグローバル展開推進。 FCV用冷却液のグローバル製造販売開始。
	2022年度末までに事業体全体でのCO2排出量150t削減（2021年度比）を目指します。	再生エネルギーの採用により4-3月で240t削減見込み（2023年3月末目標達成）	社用車にて①純エンジン車を廃止（1台）、②EVの導入（1台） ※他方策合わせ2023年度末までに事業体全体でのCO2排出量82%削減（基準年2019年比）
	2022年度末までに事業体全体での紙使用5%削減（2021年度比）を目指します。	4-3月で20%削減見込み。（2023年3月末目標達成）	2023年度末までに事業体全体での紙使用5%削減（2022年度比）を目指します。

（記載上の注意）

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	日本ケミカル工業株式会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	3. 製造業	
3	従業員（構成員）数	81 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	取締役社長
		氏 名	小澤 学
5	所 在 地	〒 424-8558	
		静岡県清水区吉川813番地	
6	ホームページURL	<a href="https://www.jci-net.co.jp/">https://www.jci-net.co.jp/</a>	